

君とつばさ



平成27年8月1日
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
 (電話) 03(3556)0771
 (HP) http://www.kotsujui.com

©交通遺児育英会

育英会CM お茶の間に

AC支援キャンペーン



テレビ・新聞で7月スタート

交通遺児育英会のテレビCMが7月、全国各地の放送局で放映され、同時に新聞広告も掲載が始まり、ACジャパンの「支援キャンペーン」による公共広告がスタートした。

交通事故で父親を亡くした高校生を、女優の山口まゆさんが演じる広告「お茶の間に」は、山口さんが「勉強がしたい……大学へ、行きたい。交通事故で父を亡くした私は、そんなこと言っちゃいけないと思っただ」と語る中、「進学

の夢まで、交通事故に奪わせない」とナレーションが入るストーリー。15秒、30秒の2種が用意されており、ACジャパンのホームページでも

視聴できる。沖縄県の元奨学生からは、「与那国島でCMを見た」と視聴報告が寄せられた。新聞広告は、進学を諦めた。

めかけた山口さんの暗い表情と、夢の実現へほほ笑む表情を対比させた写真が並ぶ図柄が、関東のブロック紙などに掲載された。

2面に心塾読書感想文最優秀作の全文

00万円と受取寄付金4億3500万円などの計7億2000万円、費用は事業費5億3800万円と管理費9400万円、合計6億3200万円、当期正味財産増減額は8800万円の黒字となった。

この増減額は、前年度比で2400万円減少、予算差異でプラス1億4200万円となった。

▲安全保障関連の国会審議は紛糾。政府与党が「抑止力を高める」と主張し、野党は「違憲だ」とたがす。全く議論が噛み合わない。国民は蚊帳の外で、安全保障のあり方が大転換するのではと気をもむ▼1日はどんな日か。1894年には日本と清が互いに宣戦布告した。1941年には米

8月は平和和典が続く。6日広島原爆の日、9日長崎原爆の日、15日終戦の日。

語学研修生、米へ出発

アメリカ語学研修に参下旬、羽田空港から加する高奨生24人が7月、フォルニア州へ向けて出発した。

大きなスーツケースを引いて、緊張した表情で国際線ロビーに集まった研修生は、最終説明会で入出国書類などに英文で記入して準備を完了。手続きを終えると、3週間をともなう過す仲間とあいさつを交わして打ち分け、互いに研修への意欲を語り合いながら深夜便に乗り込んだ。

イしながら、語学研修などで異文化を体験し、8月9日に帰国する予定。AFS委託のカナダ研修生2人、オーストラリア研修生1人もそれぞれ7月下旬に出発、1か月の研修を体験して8月中旬下旬に帰国する。

返還金の総額は10億1000万円、返還率87.1%で、前年度を1.9ポイント下回った。返還が1年を超える滞納者は、26年度末で2721人で、前年度より129人減り、5年を超える長期滞納者は同126

文講座4回のほか、寮生が京都・嵐山周辺を散策する親睦会を行った。

【決算報告】平成26年度決算は、収益が財産運用益2億60

交通遺児育英会は6月26日の定時評議員会で、任期満了に伴う理事・監事の改選を行い、理事13人、監事2人全員を再任した。同日の評議員選定委員会も、任期満了に伴う評議員の選任を行い、20人を再任、新たに4人を再任した。この結果、評議員は24人になった。新任の評議員は次の通り(敬称略)。

▽岩井絹江(東京家政大学常務理事)▽神谷俊広(全国ハイヤー・タクシ

新奨学生292人を採用

27年度 総数1164人に

交通遺児育英会は、奨学生予約者の中で今春進学した292人を正式に採用し、6月、本人と進学先の学校へ通知した。

この結果、2年生以上の継続採用者を含めた6月1日現在の奨学生総数は、高校365人、高専

大が27人減、専修・各種が6人増、大学院が2人減となっている。

奨学生が漸減しているのは、交通事故、死亡事故の減少で遺児家庭が減ったこと、高校無償化に加えて低所得者への支援金が拡充されたこと

【事業報告】1. 奨学生の採用 26年度の新規採用は、高校479人、大学71

奨学金、一時金、準備金の貸与総額は9億4855万円、同1733万円減だった。

【決算報告】平成26年度決算は、収益が財産運用益2億60

採用されたのは、高校88人、高専1人、大学12人、短大15人、専修学校67人、各種学校1人、大学院8人。

前年同期に比べ、高校・高専が17人減、大学・短

大が27人減、専修・各種が6人増、大学院が2人減となっている。

奨学生が漸減しているのは、交通事故、死亡事故の減少で遺児家庭が減ったこと、高校無償化に加えて低所得者への支援金が拡充されたこと

【事業報告】1. 奨学生の採用 26年度の新規採用は、高校479人、大学71

奨学金、一時金、準備金の貸与総額は9億4855万円、同1733万円減だった。

【決算報告】平成26年度決算は、収益が財産運用益2億60

元気に「アメリカへ行くぞ!」(羽田空港で)



前年同期に比べ、高校・高専が17人減、大学・短

奨学生募集中

奨学生の推移 単位:人、6月1日現在、()内は新奨学生数

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
高校・高専	523	487	446	424	379(89)
大学・短大	711	715	677	659	598(127)
専修・各種	199	185	182	173	157(68)
大学院	29	26	28	26	30(8)
計	1,462	1,413	1,333	1,282	1,164(292)

風の唄



アクリル画 不織布

東京造形大学 2年 寺内 遥奈

交通遺児育英会は6月26日の定時評議員会で、任期満了に伴う理事・監事の改選を行い、理事13人、監事2人全員を再任した。同日の評議員選定委員会も、任期満了に伴う評議員の選任を行い、20人を再任、新たに4人を再任した。この結果、評議員は24人になった。新任の評議員は次の通り(敬称略)。

▽岩井絹江(東京家政大学常務理事)▽神谷俊広(全国ハイヤー・タクシ

1連合会理事長)▽武川明(日刊自動車新聞社編集局長)▽山口真人(ジエ・エー・エフ・メイト社代表取締役社長)

※お断り 3面「もう読んだ?」休みました。

本紙は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



『七七』

ミシヤエル

・エンテ著

(岩波少年文庫)

小さな七七に出来たことは、相手の話を聞くことでした。考えを引き出すような質問をするというわけではなく、ただじっと座り、大きな黒い目で相手を見つめ、注意深く聞いているだけです。

七七に話を聞いてもらうとは、はっきりの意思、勇気、希望や明るさなどが浮かび上がってきます。七七に話をきいてもらおうに、「世界中の人間のおかげで、おれという人間はひとりしかない。

だからおれなりにこの世の中で大切な者なんだ」と気づくのです。こういうふうに七七は人の話を聞けたのです。

自分が大切な存在である自分自身で感じる事は、時にとても難しいと



七七から教えてもらったこと

東京寮

実践女子大学卒業 町田 春佳

私は思います。自分の心の問題は、お金や技術で解決出来ない場合が多いと思いますし、誰もが相手の心を救うことは出来

と、映像が流れるように頭に浮かびました。七七に家族はいません。財産や権力、学歴、虚栄心、物欲などもありません。どんな環境でも自分の力で生き、好奇心と工夫で、あるものの中から

幸せを見つけて出し、自然や友達を大切にしながら、いつも自然体で素直に生きています。そんな七七だからこそ、話をした側が、自分の気づかなかった自分の気持ちや七七の目を通して発見したのではないかと

から受ける感動の時間、損得勘定なしの自分をきけ出せる友人との時間など、きりがありません。これらの時間がなくなったら自分が自分でいられなくなると思います。自分の心に潤いと余裕を持たせれば、自分を愛すること、他人を思いやることにつながると思いました。そういう人が増えれば自然と犯罪や暗い出来事は減っていく、と作者からのメッセージとして受け取りました。

周囲に送るやさしい視線を感じる。財産や権力、学歴、虚栄心、物欲を持たない七七が、自然や友だちを大切にしながら、いつも自然体で素直に生活していることを指摘している。効率一辺倒で生活するかどうか。その具体

的な例を床屋のフージーのケースから書き出してある。仕事の流儀を貴く時間、母と過ごす思いやりの時間、ダリア嬢訪問のときめきの時間、歌や本から受け取る感動の時間、損得勘定なしで自分をさらけ出せる友人との時間、など。

こうした事象を課題図書からすくいあげて吟味することで、「時間とはその人の心の動きそのものであり、自分の心に潤いと余裕を持てれば、自分を愛すること、他人を思いやることにつながる」という作者からのメッセージをきちんと受け取っている。(講師・井谷 昌喜)

戦争体験、私たちが次世代へ伝承を

3年 根岸 里香

私は修学旅行で広島に行き、平和の尊さを改めて実感した。

広島市の原爆によるすさまじい被害や、戦争の無残さ、悲しみ、これから

の未来について考えることの大切さを学ぶことができた。

被爆者の瀬木さんのお話がとても印象に残った。とりわけ強烈に残ったのが、「死体がたくさん転がっている環境に慣れたら、死体がたくさん転がっていても平気なところまで平和をつくることはできるのだ。

生徒会活動でネパール支援

3年 岡田 直起

昨年6月に生徒会書記として、職員室前に掲示されています。

将来は社会に貢献できる活動をもっと行いたいと思つたようになりました。今、交通遺児育英会をはじめとするたくさんの方々のサポートを受けられる環境にあることに感謝し、自分が助けてもらった分、将来困っている人がいたら支援したいと思つています。(兵庫県)

思つたからです。そのためにも、一倍努力しなければならぬと肝に銘じています。なんといいてもそれが警察官になるための早道なのだから。

警察官への早道 剣道上達に努力

2年 奥 祐輝

私の将来の夢は警察官になることです。その理由には、中学生の頃に一度、車による交通事故を目の前で見たことがあり、その時の警察官たちの懸命に事故処理する姿を見て、自分も人のために役立つ働きをしたいと

思つたからです。そのためにも、一倍努力しなければならぬと肝に銘じています。なんといいてもそれが警察官になるための早道なのだから。



声

将来は社会に貢献できる活動をもっと行いたいと思つたようになりました。今、交通遺児育英会をはじめとするたくさんの方々のサポートを受けられる環境にあることに感謝し、自分が助けてもらった分、将来困っている人がいたら支援したいと思つています。(兵庫県)

26年度

さん、関西寮・田中里依さんは、この春心塾から巣立ち、現在は社会人1年生。2人の作品全文を、講師の講評を添えて紹介する。

きょうとしています。関西寮の読書感想文最優秀作は、こうした作品全体の流れを本質から捉えた上で、読み手として最も印象に残った「送り火」についてさらに深い洞察を加え、上質な評論に仕上げられている。本作には、人生の瞬間を演出する小道具として、さまざまな「物」が各編に登場する。「送り火」のランプがまさにそれだ。最優秀作は、これらの「物」と登場人物の交錯に鋭く着目する。それを、作品世界を分析するための強力なテコに使い、登場人物の心情の奥底へ肉薄した点には感服した。文章表現も完璧だ。さりげなく、書き進めようというスタイルを送りたい。(講師・渡辺 寛)

「送り火」の絹代さん、もう前の絹代さんとはきつと違うだろう。ずっと支えてくれていた陽平さんも年を取っていることに気付いた絹代さんは、大切な由の静かに想いながら、これからは二人の道を歩んでいくのだろうと思つた。本作は、全て雪沼とその周辺に住む人たちの話である。人があまりいない寂しい地域だが、人々はそれぞれの生活を全うしている。交わりそうに交わらない登場人物たちの物語を読んで、現実世界はいつも狭いように感じられた。

「雪沼」を舞台にした本作。作品に登場する誰もが、大切な家族や友人、恋を失った悲しい人間として描かれながら、皆が懸命に、そして誠実に生

ます。紙面は手書きでイラスト付き。毎号作成するの時間がかなり大変ですが、やりがいがあります。

生徒会活動の一環として、「ネパール支援募金」も行っていきます。昨年は総額80万円の寄付金を集め、ネパールにソーラー・パネルを持って行きました。現在はネパールに学校を建設するため、200万円を目標に募金活動を行っています。

街頭での活動を通して、人からお金を頂くことがどれだけ大変なのかを改めて実感しました。ネパールの子供たちから学校宛てに感謝状が届いており、職員室前に掲示されています。

後悔しないためにも、人一倍努力しなければならぬと、肝に銘じています。なんといいてもそれが警察官になるための早道なのだから。

警察官への早道 剣道上達に努力

2年 奥 祐輝

私の将来の夢は警察官になることです。その理由には、中学生の頃に一度、車による交通事故を目の前で見たことがあり、その時の警察官たちの懸命に事故処理する姿を見て、自分も人のために役立つ働きをしたいと

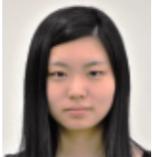
思つたからです。そのためにも、一倍努力しなければならぬと肝に銘じています。なんといいてもそれが警察官になるための早道なのだから。

警察官への早道 剣道上達に努力

2年 奥 祐輝

私の将来の夢は警察官になることです。その理由には、中学生の頃に一度、車による交通事故を目の前で見たことがあり、その時の警察官たちの懸命に事故処理する姿を見て、自分も人のために役立つ働きをしたいと

柳田 萌香

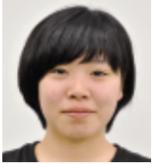


交通遺児育英会の心塾にこの春入寮した大学、専門学校の新入生は、東京、関西の計38人。実家を離れて4か月、14人が寮の体験記を寄せてくれた。(敬称略)

結城 拓人



渡辺 真実



岡尾 そら



村上 宝



橋野由香里



濱高 沙英



仲間いて心にぎやか

心塾新入生 入寮4か月

伊藤 耀修



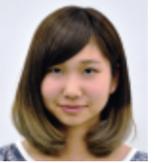
木下 彬



久野 愛永



鈴木 華菜



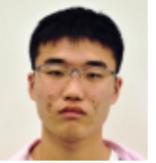
中谷聡一郎



三浦 夏生



山口 彰仁



東京寮

恵まれた環境
伊藤 耀修
最初は不安なことも多く、入塾に抵抗感もありましたが、新入生歓迎会でそれがなくなり、入塾して4か月、いまでは、毎日楽しく生活しています。たくさん仲間でコミュニケーションができて、恵まれた環境で生活できています。

仲間いる安心感

鈴木 華菜
決められたルールがある心塾を、ときどき大変だと感じます。しかし、先輩や同期生と過ごすことで楽しく生活できています。帰塾したとき安心感があるのは、仲間がいてくれるからです。だから、入塾してよかったと思います。

宝物の4年間に

山口 彰仁
ようやく寮生活に慣れてきた感じがします。寮母さんや事務員、同級生、そして何より先輩方が優しく接してくれるおかげで、楽しい日々を過ごしています。個性豊かな友だちと一緒に暮らす4年間を一生の宝物にしたいです。(東京福祉大学)

価値観を共有

渡辺 真実
寮になじめるかとても不安でしたが、優しい先輩方、同期生仲間と楽しい日々を送っています。たくさん価値観を共有したことで、イベントにも積極的に参加し、すてきな2年間にしたいです。(神田外語学院)

おいしいご飯

村上 宝
親元を離れ、一人の生活に不安ばかりでしたが、寮の仲間とも仲良くなり、毎日おいしいご飯が食べられて、充実しています。新しい場所での生活と学校をしっかりがんばっていきたいと思います。(大阪赤十字看護専門学校)

不安なく解消

木下 彬
最初は仲良くなれない人がいるのではないかととても不安でしたが、同じ階の先輩を始め、事務室の方もフレンドリーに接してくれるので、あっという間に慣れました。これからも楽しく暮らしたいです。

不安は杞憂に

中谷聡一郎
いままでも家を離れて団体生活した経験がなく、実を言えば、心塾でうまくやっていけるのか不安を抱えていました。しかし、それも杞憂に終わり、いまは同期生や先輩方、職員の方々のおかげで、充実した日々を送っています。(中央大学)

生活のベースに

柳田 萌香
大学生活が始まり、心塾が私の生活にとって欠かせないベースになりました。入塾して以来、周りには常に仲間がいて、私の心はいつもにぎやかです。心塾にいななければ味わえない、この感覚を大切にしたいです。(学習院大学)

改めて母に感謝

岡尾 そら
初めての一人暮らしに慣れず、落ち着かない日々を送っています。洗濯も掃除も自分でしたことがない私には大変で、改めて母への感謝の気持ちが大きくなりました。ご飯がおいしいから、毎日がんばれています。これから、もっと一人暮らしに慣れて、充実させていきたいです。(大成学院大学歯科衛生専門学校)

親に感謝を実感

橋野 由香里
いま一番思うのは、ここまで育ててくれた親に感謝しなければいけないということです。一人になって親のありがたみを実感しています。早くこの生活に慣れて行きたいです。(明治国際医療大学)

仲間に支えられ

濱高 沙英
入塾してからの4か月は、いままでも全く違う生活でした。親元を離れて初めての寮生活。不安なことがたくさんありながらも、友だちや寮の方々に支えられて、楽しく4か月を迎えることができました。(大阪調理製菓専門学校)

笑い合える仲間

久野 愛永
4か月たって、先輩方との仲も深まり、同期生と楽しく笑い合えて、すごく居心地がいい生活です。入塾を嫌々ながら決めたことも、何故あんなに

個性豊かな仲間

三浦 夏生
4か月がたち、共同生活にもようやく慣れ始めました。個性豊かな同期生や優しい先輩方、寮母

勉学に励みたい

結城 拓人
大学や寮での生活に慣れ、楽しく過ごしています。

ネットで紡ぐファンタジー

中

学のとぎ、古ぼけたパソコンを叔父からもらう。解体して組み立て直す。初めて手にしたそのパソコンでゲームやネットサーフィンを楽しむうち、「もっと深く学びたい」と思った。

九州産業大学(福岡市)の情報科学部3年の岸恭太さん(22)は、いまコンピュータの勉強にのめり込む。「課題で毎週のようにソフトを作り出す。単純な計算ソフトなんかは1時間くらいで作れる」

ゲームソフトのサンプルが配られ、ソフトの空白を、各自が思うままに書き加えて創作する授業も。「キャラクターを操る」ロールプレイングゲームは、より高得点を競う、短時間でクリアしないといけないゲームにした」と、意匠も凝らした。

が、理系一辺倒ではない。パソコンで小説を書く。「短編も入れたら、高校のときに100編以上、大学に入ってから50編くらい」高校のころから書き継いでいる長編もある。「投稿サイトに、ファンタジー小説を連載しています。定期読者が3万人くらいいて、延べ閲覧数は40万回。もう単行本5冊分くらいになった」

岸 恭太 さん

九州産業大学 情報科学部3年

はばたく



(右)授業の合間、文芸部仲間と想像力談議 (左)「居心地がいい」と、何となく仲間が集まってくる部室で



で、幹事(部長)として、仲間との自作批評会を切り盛りする。「小説を書いて、『このせりふ回しを直した方がいい』とか、『こう書きなおすとよくなる』とか、批評し合うのが活動」

大

分県の実家を離れ、親戚の家に世話になってきたが、半年前から一人暮らしを始めた。「2年近くのアパートでお金をため、大学から給付と貸与の奨学金を受けて、実家からの仕送りなしで、自立しています」

自炊も楽しむ。ポトフを作り、ワイングラスを片手に、世界の民族音楽を聴く……何もかも忘れられる。

実家に、事故で障害を負った父・義信さん(46)、母・由美子さん(45)、妹・百里香さん(18、高3)を残している。家族の思いに沿って、「すぐ会える」距離のIT企業に就職したいと思う。

「サイバー小説家」の想像力は、卒業後、福岡県の会社でプログラマーかシステムエンジニアとして働く姿を思い描いている。

夢まっしぐら

宗前 すみれさん (19)

経専音楽放送芸術専門学校 音楽・放送芸術科 2年(札幌市)



た。小6のころから50曲くらい楽曲を作ってきましたが、だれかに聴いてもらいたくなくて、ボイストレーニングに

「ここで音楽を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？」
5歳のときからピアノを習いました。中学、高校と合唱部に入って、高校では全国大会優勝も経験しまし

「愛を届ける」弾き語の

も通い、高2のとき初めてライブをやりました。ピアノの弾き語です。

「はい、もう120回くらい。高校卒業のときは、ソロで『スマイル卒業記念ライブ』をやりました。客席の椅子を並べたり、リハーサルを一人でやったり。家族や友だち、

「プロのシンガー・ソングライターを目指す」
「それが一番の夢。愛を届けるシンガー・ソングライター」というスタイルが、定着してきたと思います。ただ、心をこめて歌う、だけではなく、メッセージが伝わるように楽曲を作って、表現する——それが形になってきました。学校に守られているこの1年が勝負と思って、がんばって、デビューに一步でも近づけたらいい」
「プロを目指すことについて、ご家族の考えは？」
「私がいまここに通っていることが、答えです。私が選んだ道を真っすぐ進むことが親孝行、そんなふうに育てられてきました」



「ギターは習いたて」という宗前さんは、すでにCDも4枚出し、この夏はライブ・イベントを走り回っている

ら、もっと音楽の勉強がしたくなって。ボイストレーニングを学びたかったので、クラシックの勉強が中心の大学ではなく、専門学校にしました」
「学校の部活や勉強とは別の、弾き語りのライブ？」

音楽仲間が80人くらい来てくられて、こんなに応援されているのか、がんばらなきゃと思いました。ソロライブはその1回だけです」
「そんなにライブの演奏経験があれば、学校で勉強す

「ありさん(23)が就職して家を出たいまは、父・真一さん(52)、母・純子さん(45)と3人暮らし。活動ぶりをブログで報告している。会話のときの普通の声でも、合唱で鍛えたソプラノでもない、張りのある大人っぽい歌声が、メッセージを力強く伝える。

オンステージ

鶴岡八幡宮 巫女若干名募集——大学4年の春、大学の就活窓口でばらばらとめくって目にした求人票にびくつき、「これは絶対何かある、やってみる価値がある」

鳥羽明日香さん(24)はそのころ、勤めたいと思っていた書店を受験したものの内定を得られず、「就活断念」も考えていた。

同じく就活で苦戦していた友だちと、「寺社巡りでもして、心をきれいにしてから、もう一度やろう」と相談、鎌倉へ赴いた。北鎌倉から歩き始め、最終地点の八幡宮にたどり着く。

「ご本殿にお賽銭を上げて、『就職先が見つかりますように』と祈願しました。そうしたら、翌日、大学で八幡宮の求人票を見つけたんです」

「巫女の仕事は重要な仕事は神様に神楽舞を奉納することですが、募集要項に華道、茶道、香道を教養として身につけ、外国人の対応もするとあった」から。

鳥羽 明日香さん

鶴岡八幡宮巫女(神奈川県鎌倉市)

天恵のような求人票の導くまま、鳥羽さんはいま八幡宮の巫女。「ご縁です」英語教育に熱心な高校に在学中、イギリスの語学研修に参加した。大学では、「英語で日本文化を発信する」「国際日本学部で、マンガ、アニメ、ゲームなどのポップカルチャーの勉強に取り組んだ。」

それが、仕女の道に飛び込んだのは、「巫女の一番重要な仕事は神様に神楽舞を奉納することですが、募集要項に華道、茶道、香道を教養として身につけ、外国人の対応もするとあった」から。

「巫女は独身女性しかできない仕事。年齢を考えると、これからのことも考えないといいけないので」

「再就職は具体的に考えていませんが、経理の仕事にも興味が出て、簿記の本を立ち読みしたりしています」
父・和重さんを2歳のとき

初めて祈禱舞、次に萬代の舞、仕上げに浦安の舞と次々に習得、結婚式などで舞を奉納している。「稽古ごとを神社という場所で学ぶのは貴重な時間で、神道という文化、宗教を理解できるようにするための勉強が、早くも数年前に退職することを考えている。

「巫女は独身女性しかできない仕事。年齢を考えると、これからのことも考えないといいけないので」

「再就職は具体的に考えていませんが、経理の仕事にも興味が出て、簿記の本を立ち読みしたりしています」
父・和重さんを2歳のとき

天恵が舞い降りて巫女



屈指の初詣スポットとあって、「大みそかと元日は、職員総出で夜通し仕事です」と鳥羽さん(静御前が舞ったと伝えられる舞殿、その奥の本殿を背に)

樹齢1000年を誇りながら5年前に強風で倒れた大銀杏の切り株(左)とその根株から芽吹いた若木(右)



きづくした(享年34)。「よく父の仏壇に線香をあげて手を合わせます。仏教と神道は別物ですが、葛藤は全くないです。共存しているのが日本の形と理解している。神社に入っ得た感覚です」
実家のある横浜市は近いが、一人暮らし。母・利枝さん(54)の手料理恋しさに、毎月のように帰る。ご飯、みそ汁、焼きジャケ、キャベツと豚肉の野菜いためを迎えてくれる。
母の元に帰って、次はどんな仕事に就くか。いま一度の「ご縁」を楽しみにしている。

引っ込み思案吹き飛ばす熱演

はつらつ

おおもりのしずか
大森 静花 さん

岡山県立倉敷中央高校2年 演劇部

岡 山県立倉敷中央高校演劇部2年の大森静花さんは、「自分は引っ込み思案で、思うことを人前でうまく話せないで、それを改善する方法はないか」と日ごろから気にかけていた。そんな時、新入生向け演劇部勧誘ポスターを見て、これだと思った。

「先輩たちが人前で堂々とせりふを言う姿がまぶしかったです。それに近づければ」と、部員14人はすべて女子。練習は、放課後4時から6、7時まで。発声、せりふ読みに立ち動きの練習と続く。

「今回は、新入生も参加するので、発表会向けの稽古がスタートしたのは4月末です」岡山県地区の春の発表会、正味1か月の準備で本番に臨んだ。演目は「演劇娘、走り去る。」(大沢ケイト作)。

「脚本は、学校図書館の演劇コーナーの本や、インターネットの脚本登録公開サイトからピックアップし、自分たちでアレンジしました。役柄は、自分たちでオーディション

ンをやって皆が審査員になり、決めていくんです」大森さんは衣装係を演じた。本番を終えて、自分の演技を振り返る。

「ぜんぜん声量が足りなかった。滑舌も悪かったし、自分の課題ですね」公演には同級生たちに混じり、母・育子さん(42)も応援に駆け付けた。

「母は大事な公演には必ず来てくれます。部活で帰りの遅い時は迎えに来てくれるし、いつも私を静かに見守ってくれる。思いやりのある人です」

今年母の日に、大森さんはカーネーションを添えて、手作りのブラウスをプレゼントした。「裁縫はあまり得意ではないので、友達に教わりながら作りました。とても喜んでくれて」

一方、料理は学校の食物調理検定で2級を取っている。パティシエになるのが夢だ。「いまは部活でなかなかできないけど、少しでも母の負担を軽くするため、料理や洗濯は手伝ってあげたい」



演じ終えてほっとする大森さんら

「母は大事な公演には必ず来てくれます。部活で帰りの遅い時は迎えに来てくれるし、いつも私を静かに見守ってくれる。思いやりのある人です」

母 と2人暮らし。仕事で疲れて帰ってきて、愚痴ひとつ言わず、明るく振る舞う母を気遣う。

静花さんに父・昌夫さん(享年41)の記憶はない。静花さんが生後10か月とき、事故で亡くなった。育子さんは、「結婚してもなかなか子どもができません。静花は7年目でようやく授かった一人娘。夫も大変喜んで、『静花』という名前には、義経を支えた静御前のような気丈な女性に育ってほしい、という夫の願いがこめられています」という。

この公演で3年生は引退し、大森さんたち残り10人が演劇部を引っ張っていく。「地区大会を勝ち上がり、秋の県大会にぜひ出場したいです。できれば中国大会出場が夢。幕が下りる瞬間の達成感と感動が一番こたえられず、クセになります。皆との絆をいつまでも大切にしたいです」



岡山県備前地区の高校が参加した6月の演劇発表会



「母は大事な公演には必ず来てくれます。部活で帰りの遅い時は迎えに来てくれるし、いつも私を静かに見守ってくれる。思いやりのある人です」

「母は大事な公演には必ず来てくれます。部活で帰りの遅い時は迎えに来てくれるし、いつも私を静かに見守ってくれる。思いやりのある人です」

お母さんの背中

エステががつなぐ人の輪

佐 世保湾を望む丘陵地に、2階建ての民家が立つ。白地に、エステティックサロン「ゆりかご」のピンク色の文字の看板がひ



ときわ目立つ。こぢんまりした店にはスタッフが12人。化粧品会社の委託販売員、溝口真須美さん(53)がオーナーを務める。

「オーナーといっても、皆で出資して開業したんです。スタッフは私のお客だった人たちです。やっぱり、『こげんきれいにしてくれて、あなたにしてみたらよかった。ありがとう』と言われるのが一番うれい

です」溝口さんは、会社主催のエステティック指導トレーナーの免許を持ち、出張エステをしながら化粧品を販売していた。その活躍ぶりを見て、客も自分でやってみたいと集まってきた。各自が得意客を順調に増やした時点で、店を持つことにしたのだ。設立4年目にな

る。「必死に毎日を送っていた、あつという間に時が過ぎ去った感じです」14年前夫・敏博さんは、



「ゆりかご」店内は1階が4席、2階はベッド2床が並ぶ

夜間の道路で、自走禁止の工事車両に衝突して亡くなった(享年36)。事故は、敏博さんが墓石の設計・販売を会社から任

「ところがあろうことか、建設会社からは逆に損害賠償の請求までされて。幸い、目撃者が名乗り出てくれて、裁判に勝ったんです」

剛史さん(17、高2)は4歳だった。幼い子どもたちを抱え、慣れない裁判に頻りに出廷しなければならず、仕事に就くどころではな

く途方に暮れた。「年の瀬に、夫の口座から自動引き落としだった水道・ガス・電気のコレが底をつき、止められて。何度死のうと思ったことか。長男と高校進学のことや

あい、家を飛び出し、夜中に帰ってきたら、次男が玄関で泣きながら待っていたんです。これではいけないと」

小 学生の清美さんが、幼い剛史さんの保育園の迎えから寝かしつけ、晩ご飯の支度までして、母を助けた。おかげで夜も仕事を入られるようになった真須美さんは、得意客を必死に開拓していった。子どもの友だちの保護者が客になってくれたり、知人を紹介してくれたたりした。

「皆さんとのご縁は切れないですね」いま、善之さんは東京でパレルの仕事をし、清美さんは地元通信会社に勤める。剛史さんは、野球のクラブ作りの職人になるのを将来の目標としている。

「次男が高校を出るまではもうひとがんばり。上の2人は、将来を誓い合った相手もいるようだし、早く孫の顔を見たいですね」

溝口 真須美 さん
エステティックサロン経営(長崎県佐世保市)

され、独立開業した2日後、裁判は2年半以上続いた。このこと、高価な墓石切削機械の購入のため、生命保険を解約したばかりだった。さん(25)が小6、次男・

「必死に毎日を送っていた、あつという間に時が過ぎ去った感じです」14年前夫・敏博さんは、

あしながおじさんの広場



うにと願っています。

【4月】
便利なクレジットカードで寄付することになりました。寄付は14年目です。
(静岡県H・Hさん)

交通遺児の方々の希望
(新潟県K・Kさん)

お便り

私は一回でも寄付を
出せることに感謝して
(東京都Y・Yさん)

余裕ができた時ごと
に、寄付させていただきます。
(広島県A・Tさん)

寄付金の有効な利用を
お願いします。
(埼玉県U・Aさん)

古希の記念、役に立てれば

古希を迎え、何かに
立てればと思いました。
(福岡県G・Mさん)

古希を迎え、何かに
立てればと思いました。
(福岡県G・Mさん)

社員とその家族参加の
安全運転教室を開催した
際に、募った寄付金をお
渡しします。
(東京都H社)

母親、非正規雇用が4割強

遺児家庭調査(家計)

保護者の大半を占める
母親について、就業形態
を尋ねたところ、半数近
い44%が「パート、アル
バイト、派遣、契約など
非正規雇用」か「その他
の仕事」だった。

2010年国勢調査で
は、非正規雇用の母親は
36%で、遺児家庭の母親
は、非正規雇用の割合が
高い。

逆に「無職」と答えた
のは5人に1人(19%)
で、国勢調査の3人に1
人(35%)に比べ、半数
程度にとどまっている。

保護者と同居者を合わ
せた世帯収入は平均3.4
万円。末子が高校生世
代の家庭の全国平均収入
は73.3万円(厚生労働
省調査)で、遺児家庭は
その半額にも届かない水
準だった。

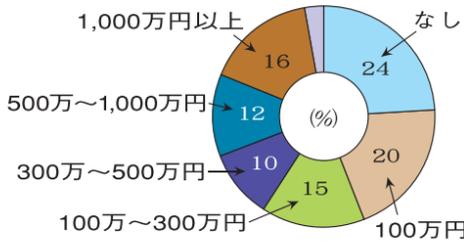
世帯家計について、36
%が「足りている」と答
えたが、59%が「不足」
と回答。また、預貯金は
「なし」が24%で最も多
かったが、4分の3は少
額であったも何らかの蓄
えを持ち、逆に借入金は
「なし」が6割。

母親の就業形態(%)



「交通遺児家庭生活実態調査」によると、遺児家庭の保護者は、母親が84%、父親が10%。

預貯金



交通遺児育英会の連絡先(平日09:00~17:30)

▽奨学金貸与について	0120-521286
▽返還・猶予・免除について	0120-521287
▽成績相談などについて	0120-521295
▽つどい・語学研修について	0120-521219
▽心塾入寮申し込みについて	0120-355619
▽募金・寄付について	0120-521285

宝くじは、みなさまの豊かな暮らしに役立っています。

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちで、みなさまの暮らしに役立っています。

